【第8回】4月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム

(主催:国立情報学研究所)

後ほど、

スライドは公開予定です!

日出学園中学校・高等学校の遠隔授業対応&遠隔授業の法則

細かい注釈は、

吹き出しで記載してあります。

日出学園中学校・高等学校(千葉県)

武善紀之

n_takeyoshi@hinode.ed.jp

過去の発表資料など(情報科関係が中心)

http://high.hinode.ed.jp/education/hinode_joho.html



日出学園

所在地:千葉県市川市

創立 : 1934年

· 幼稚園 : 93名

· 小学校 : 597名

▶ 中学校 : 355名

· 高等学校 : 496名

・ 学園業務部・法人企画室

+

· 教職員 : 181名

合計 1722名

武善紀之 Takeyoshi Noriyuki

・日出学園中学校・高等学校 教諭

(情報科・公民科・数学科)

· 日出学園法人企画室(2018~)

ICT推進チーム リーダー

<勤務7年目,現在29歳>



学園公式 キャラクター 日和かっぱ

- ●5/30(日)まで休業延長(5/7以降,オンライン授業等の開始を正式に発表。それ以前は各教科裁量)
- 2 学期始業式8月18日(火)

【2020.5.15 現在】

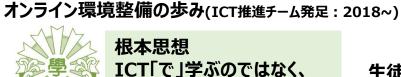
2部制

⇒ 法人職員の立場として 端末整備・アカウント配布・教員研修等の各施策について

▶ 中高教員の立場として

自身がオンデマンド授業内で法則とした事項等について

ピクトグラム: ICOON MONO



ICT「で」学ぶのではなく、 ICT「を」学ぶ

<生徒端末整備の歩み>

2017 ·iPad試験導入(小·中高 各10台)

2019 ·PC教室端末のJ-ト化(小·中高 各42台)

- ·Chromebook導入(中高 42台)
- ·iPad導入(小 42台)

2020 コロナウイルスによる休業措置

・個人所有端末を活用

端末を持っていない

校種を問わず法人全体で

使える唯一に近いサービス

家庭は?



生徒端末

Google Classroom

Classi

クラウド(いわゆるLMS)



学校貸与

学内ハード

<クラウド環境整備の歩み>

※いわゆるLMS。課題配信・ファイル共有サービスなど

2016 ·Aipo及びメールサーバ廃止に伴い,Google for Education加入 (Gmailのみ運用→全教職員が外部とのやり取り可能に)

・Google Classroomの試験運用(学校内1クラスのみ)

2017 ·Google Classroomの全校運用開始(希望学年,教科等が個別に)

2018 ·Google Classroomの全員運用開始,職員会議はClassroomで (オリエンテーションで登録→生徒・教員共に不評)

2019 · Classiサービス並列運用開始

(オリエンテーションで登録→生徒・教員共に好評、しかし定着せず)

2020 コロナウイルスによる休業措置

・二足の草鞋で運用開始;これが極めて役に立った!

<学内ハード環境整備の歩み>

2018·第1次学園内無線環境増強

・PHS更改に伴い、全教職員にスマートフォン貸与 (SIM付)

2019 ·全教職員にWebカメラ付きノートPC貸与(可搬性重視,CD未搭載)

・学園サーバのクラウド化(既存サービス+ファイルサーバはGfEへ移行)

·第2次学年内無線環境増強

2020 コロナウイルスによる休業措置

・在宅勤務を原則とし、PC及びスマートフォンを持ち帰り活用

> 学内データに在宅ログイン可能

> 学校宛Telを教員貸与スマホに転送可能

教員の研修は?

中学校・高等学校の環境整備

アカウントの周知は?

3月 休校決定(2/27~,以後登校日一切なし) 4月 新年度休校延長

- ●新入生
- →受験時情報から、

個別メールでアカウント情報を送信(ログイン指示)

- →未□グイン生徒に担任Tel
- ●在校生
- →教材一斉宅配で、アカウントを送信(ログイン指示)
- →未ログイン生徒に、担任Tel
- ●定着するまで、学園Webページで情報発信
- ●養護による健康観察開始(Classi→Googleへ)

5月 学園業務部(事務部),担当者のパンク

● Googleの管理者権限を調整して学年に1名、 ヘルプデスク担当者

特権管理者

法人企画室 ICT推進チーム

グループ管理者

ユーザー支援チーム ・メディアセンター

(司書1名,司書教諭1名)

マニュアル作成,Webページ発信

「管理者」は単なる負担 ではなく、**視野を広げる**

ヘルプデスク管理者

各学年1名

ログイン支援、PW再発行

アフターコロナ, ウィズコロナの 活用を視野

端末を持っていない家庭は?

4月「ICT所持状況アンケートを実施」

(全家庭の回答は得られず→それでも良いと判断) 目的は「レンタル数の概算の把握」

5月 ハードウェア支援の開始(学園業務部)

●有償レンタル整備

- ・タブレット
- ·月額2,000円(20GB)
- ·契約期間:min(3年間,在籍期間)
- ・第1次(5/7〆)小48+中高59申込
- ・第2次以降も予定

学園**内部**への

活用後押しにも

アフターコロナ, ウィズコロナの 活用を視野

●学内ハードの最大限活用

- (1)J-PC
- ・兄弟姉妹在籍者への無償貸与
- ・情報科でローカルアカウント作成→**着払配送**
- (2)職員室でのWebカメラ貸出 (情報科で保有していたもの)



教員の研修は?

4/3に全教職員(幼・小・中高・業)一斉にZoom体験会を実施(30分程度) 資料⇒https://bit.ly/2RbrdkL



根本思想 ICT「で」学ぶのではなく、 ICT「を」学ぶ

ICTはツール(手段)ではなく目的であり、思想であり、概念である!

詳細は、

http://high.hinode.ed.jp/education/hinode_ict.html

➤ その1. 生徒も試行錯誤し、創造するICT

例えばスマホで新しくスケジュール管理のアプリを探すとき、私達はどのような行動を取るでしょうか。

- ▶ その2. 日常の延長としてICTが使える環境へ
 - 本来は時空間的制約から開放されたICT。当たり前にICTのある学校。
- ➤ その3. ICTを知ることは、ヒトを知ること 情報技術の歴史はコミュニケーションの歴史、人類の営みの歴史。思想としてのICT。
- ➤ その4. ICTの導入の先にあるICTのいらない学校 ICT教育という言葉から想起されるICTは、すぐに変わる。



コロナ禍でも、 (だからこそ) この方針を 貫く



根本思想

ICT「で」学ぶのではなく、 ICT「を」学ぶ

ICTはツール(手段)ではなく目的であり、思想であり、概念である!

ICT「を」学ぶ(教える)、最低限の活用ルール

- (1) 双方向性のある課題展開を行うこと
 - >どの授業も最低隔週に1回。 >但し、ツールは一切限定しない
 - (教員個人の判断)
- (2) オンラインHRを行うこと
- (3) 同期型授業に限り、時間割を厳守 (既存時間割枠組みで対応)

大枠のみの取り決めの中で、 各々が各々に適切なサービスを選択。 ただし、内外に取組公開は必須。

授業	時間
HR	8:25
1限	9:00~9:40
2限	9:55~10:35
3限	10:50~11:30
4限	11:45~12:25
昼食·休憩	12:25~13:25
5限	13:25~14:05
6限	14:20~15:00
7限	15:15~15:55

取り組みを 内外に可視化すること 特に、初等中等では、 保護者視点が極めて大切 毎週スプレッドシート 入力&公開

課題配信予定 休業中の健康調査

休業中の 健康調查

こちらから今週の学習課題を確

学習課題の 配信予定

こちらから健康調査フォームに 恝できます. 移動できます。

http://high.hinode.ed.jp/

動薬がライブ配信(Zoom授業等)の場合は、時間割に沿って学習してください。前もって担当制論からURLが通知され経体されます 5年 「現代文A】 敷和書P8~1.4 「世界をつくり替えるために」の誘ּ解【古典A】 敷和書P16・17 「月やあらぬ」の縁解 【古典 9] 数6(書P8~1 0「神量、保昌にあふこと」の晩解・文法事項「用言・助動詞・敬語」 。【古典A・8】については、5月 7日に公開したそれぞれの「ガイダンス動薬」を挑誘してから接着を受けるようにしてください。 を見終わったあとに、無時間標準 ノートを提出してください。調難は無時間後にClassiとClass noomで指示します。 1.3日は 【進学文系数1】5/7はオリエンテーション動画、5/11,12,14は授業動画を配信します。動画URLは事前にclassiでお知らせしま ので、なるべく授業時間前に見るようにしましょう。軌道内で指示した複類と板舞内容をノートに奪いて、授業後に提出しても います。それが出席の代わりになりますので、必ず提出しましょう。classはがダウンした場合は復復後に提出してもらいます 授業時間にはzoomを開設しますので、質問がある場合は聞きに来てください。 【進学コース】7 ・8 日の授業はClassiで具体的なスケジュールを配復済み。7 日より"Communication English"は、You Tube

> コロナ以前と比べても、 学びの可視化に成功!



根本思想 ICT「で」学ぶのではなく、 ICT「を」学ぶ

ICTはツール(手段)ではなく目的であり、思想であり、概念である!

共同編集ドキュメント 映像授業まとめ&手法の共有



アフターコロナ、ウィズコロナでも 大切になるのは、

ICT活用能力 < ICT活用姿勢

その他取り組み "代替"から"拡張"へ

AR入学式写真

家族みんなで制服が 着れる!

日出学園の入学式!





http://www.hinode.ed.jp/blog/high/blog/%e5%85%a5%e5%ad%a6 %e5%bc%8f%e3%81%ae%e5%86%99%e7%9c%9f%e3%82%92 ar%e3%81%a7%e6%92%ae%e5%bd%b1%e3%81%a7%e3%81% 8d%e3%81%be%e3%81%99%ef%bc%81/

スクールカウンセラー: マルチメディア・マルチチャンネルの活用

- >Tel,Mail,Zoom面接
- >相談内容で、 メディアの使い分け
- >3月以降、 相談件数増加



http://elementary.hinode.ed.jp/life/counselor.html

入試広報「オンライン個別説明会」



http://high.hinode.ed.jp/admission/setsuemikai/index_1_copy.html

2部制

 法人職員の立場として 端末整備・アカウント配布・教員研修等の各施策について

> 中高教員の立場として

自身がオンデマンド授業内で法則とした事項等について

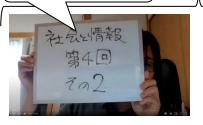
既にたくさんのテクニックが公開されているので、**あまり目にしない個人的な観点**を紹介します。

最初にフリップを出すと、 整理に便利

10分以内

映像授業に取り組んでみて

あっ! ミスった!も、 牛徒には良い刺激







YouTubeでの授業配信(編集&撮り直しはしない)

- >機材はPCオンリー(たまに小さなホワイトボード)
- >週に1回、10分間×4~5の動画
 - +週に1回、1時間程度かかる課題
- >自作プリント廃止、教科書だけで完結
- >2~3分に1回、たまに全面顔出し

◆ オンデマンド配信のみ

<最初のキッカケは**同期型**での挫折でした。でも…>

- ・課題に対する姿勢も、
- ・課題の出来&定着具合も、
- ・授業に対する生徒評価も、 どれも例年より良い!

特に「記述系」「思考系」

時間も短くてちょっとした空き時間で 見れるのがとてもいい!

印象が違います!

巻き戻し最高。「この学校の情報科」 に魅力を感じ入学を決めたので、聞き 逃す事がないのは嬉しい。

字を書くのが遅い私にとって、オンライン授業は一時停止できるので、すごく授業を受けやすく、またその環境に慣れてきているので、また学校が再開した時はオンライン授業とのギャップに悩まされそうです。 笑 その時は頑張ります!!

生徒からのコメントは、自分のやる気持続&改善の為にも必要不可欠!

情報科教員として、

※**個人の見解。**着眼点は人それ ぞれでも、"**目的"**を持つのが大切。

自分はICTをどう捉える?何を伝える?

ICT=「時空間制約からの解放」

>対面授業の代替としない。

「既存枠外ならでは」を目指す。

>グループワークを、あえてやらない。

非同期でも双方向性を持つ授業は可能。

むしろ"孤独の価値"に立ち戻り、

課題集約&公開時に"個"を繋げる。

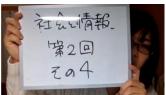
全ては如何に"熱中させるか"

個人的にイメージしている3つの法則+1

ドラマとアドベンチャーゲームの法則(構成)

(⇒授業は1時間で完結させない)

- > 「予告編」に時間を割く(全体の1/4は予告)
- > 作用している感〔本当の同期型も時間は必ずずれる〕



取組次第で、 違うビデオに! (という感覚に)



特性活用の法則(対面,紙面ではできないことの実施)

>**ゲスト教員**の登場 (映像なら、 1回呼べばOK)



日出学園情報科ポータルサイト

>ポータルサイト による**ランダム表示**

ラ日の出会いカナヤ

€プリック↓変わる

※サイトは非公開

「怒」

「怒りとは出し入れ可能な「道具」なのです。」*1という。私も最初は何を言っているのか理解できなかったが、読み進めるうちにその言葉の意図が少しかった気がした。*1 岸見一郎、古賀史健 (2013) 『 嫌われる勇気-自己啓発の源流「アドラー」の教え』,ダイヤモンド社,東京,p.35

"家"に広げる法則(⇒学校の可視化)

映像授業の一部を公開(高2 社会と情報)

高2「社会と情報」の映像授業は適に1度のペースで配信しており、第1回「メディー 報の伝達」に続いて、第3回「知的財産権」の配信を終えました。今回は、そのうち のよの表示者がデオナリスを成した「原内口出ておいが」も、まか思いたします。



> 学園ブログで 公開。

卒業生からも、「久しぶりに授業 受けたよ」とメッセージが来ました。

http://www.hinode.ed.jp/blog/high/blog/%e6%98%a0%e5%83%8f%e6%8e%8e%8e6%a5%ad%e3%8 1%ae%e4%b8%80%e9%83%a8%e3%82%e5%85%a5%ac%e9%96%8b%e9%ab%982-%e7%a4%be%e4%bc%9a%e3%81%a8%e6%833%85%e5%a0%b1/

(情報科) 既存実習も「スマホ」に落とし込む







- Officeで示す、スマホで示す、Googleスライドで示す。
- ・あとは応用。好きなアプリで、好きな時間に これこそ ICT「で」ではなく、ICT「を」学ぶ?

最初は少ない視聴者でも、 口コミで生徒は増えていきました。 久しぶりに授業が出来た時、 **自分自身**がとっても嬉しかったです。

できるところから、やってみる。

やりたいことから、**やってみる。**

日出学園中学校・高等学校の 遠隔授業対応&遠隔授業の法則 END



日出学園中学校·高等学校(千葉県)

武善紀之

n_takeyoshi@hinode.ed.jp

過去の発表資料など(情報科関係が中心)

http://high.hinode.ed.jp/education/hinode_joho.html